

2019 会 告 No.5



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

- APCChE 2019 ポスター発表締切と参加登録料金について……本号6ページ
- 「上席化学工学技士」試験 案内 ……………本号6ページ
- 「化学工学技士」試験 案内 ……………本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2019)	(2020)
◇年会		3/15～17(関西大学)
◇秋季大会	秋季大会は開催しません [※]	9/24～26(岩手大学)
◇支部大会	8/8～9(横浜国立大学)	

注)APCChE2019(2019年9月23日～27日 場所 札幌)開催のため

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
5月 May			
9	第17回上席化学工学技士交流会(東京)(東京都)	5月6日(月)	本号8
10	平成31年度化学工学会東北支部特別講演会(宮城県)		4号16
13～14	第26回化学安全講習会(大阪府)		3号11
16～17	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		4号10
17	分離プロセス部会第13回講演会及び見学会(群馬県)		3号9
17	平成31年度秋田化学工学懇話会総会ならびに第48回秋田化学工学懇話会 ケミカルエンジニアリング交流会(秋田県)	5月6日(月)	4号16
22～24	第43回基礎化学工学演習講座 第1クール(愛知県)		3号10
22～24	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(東京都)		4号9
27～28	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)		4号10
29～31	第43回基礎化学工学演習講座 第2クール(愛知県)		3号10
30	SCE・Net第119回技術懇談会(東京都)	5月23日(木)	本号9
31	セミナー「スマートCO ₂ リサイクル-CO ₂ 利用に困っていませんか～講演&見学～」(大阪府)	5月17日(金)	4号17
31	第9回行動特性研究会(神奈川県)	5月10日(金)	本号9
6月 June			
1	SCE・Net 社会人向け公開講座「原子力・放射能基礎論 -放射線の健康への影響と原子力発電の課題」(6/1～7/27の計8回)(東京都)	5月31日(金)	4号16
3	「仕様書の書き方 ～要求を正しく伝えるために～」講座(東京都)		4号11
4	2019年度第2回グローバルテクノロジー委員会(岐阜県)	5月28日(火)	本号9
5	第24講研究開発リーダー実務講座2019 -企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは?- (6/5～11/6の全6回)(大阪府)		4号17
6～7	「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(東京都)		4号9
8	第21回先端研究発表会・講演会(宮城県)	5月24日(金)	本号10
10～11	「化学プラントの装置材料技術」講座(東京都)		4号11
12	第3回CES21エクスカッション(講演見学会) -シミュレーションによるスマートプロセスの最前線-(兵庫県)		4号18
12～14	「プラント計装制御-1」講座(東京都)		4号11
14	第12回機器分析講習会(愛知県)	6月7日(金)	本号12
17	第6回初心者のための化学工学入門1日目(東京都)	6月14日(金)	本号11

17～18	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)	6月12日(水)	4号9
19	いまさら化学工学シリーズ(第2回)[反応工学編](6/19～7/17の全4回)(大阪府)	5月20日(月)	4号18
19～21	第43回基礎化学工学演習講座 第3クール(愛知県)		3号10
21	第60回関東技術サロン「次世代型工場の構築～AI・IoTの活用事例」(東京都)		本号11
24	第6回初心者のための化学工学入門 2日目(東京都)	6月14日(金)	本号11
26～28	「P&IDの作り方」講座(東京都)		4号12
27～28	バイオプロセス講演・見学会「急速に進歩する体外診断薬, その最前線」(新潟県)		本号11
28	第10回行動特性研究会(千葉県)	6月10日(月)	本号9
7月 July			
1	第6回初心者のための化学工学入門 3日目(東京都)	6月14日(金)	本号11
3～5	第43回基礎化学工学演習講座 第4クール(愛知県)		3号10
3～5	「反応器の設計」講座(東京都)		4号12
4	先端技術を支える単位操作シリーズ「固液分離の理論と実践—講演&工場見学会—」(京都府)	6月25日(火)	本号12
5	若手社員向けプロセス安全入門セミナー(三重県)	7月5日(金)	本号10
6	第2回「しごとの常識」塾～基本編②チームワーク～(福岡県)	7月1日(月)	本号8
11～12	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		4号10
13	第56回化学関連支部合同九州大会・外国人研究者交流国際シンポジウム(福岡県)		3号12
16～17	「化学物質の安全・安全実技体験」講座(千葉県)	6月17日(月)	4号13
17～19	第43回基礎化学工学演習講座 第5クール(愛知県)		3号10
25～26	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		4号13
29	改定版「充填塔の設計」講座(東京都)		4号13
8月 August			
1～2	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(東京都)		4号14
8～9	化学工学会横浜大会(神奈川県)	5月31日(金)	4号16
22～23	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(東京都)		4号14
24	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(土)	本号7
29～30	「バッチ操作を伴うプロセス設計」(東京都)		4号14
9月 September			
5～6	「プラント計装制御-2」講座(東京都)		4号15
21～22	2019年度化学系学協会東北大会(山形県)	8月9日(金)	
21	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 愛知県, 京都府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月30日(金) 13:00	4号6
10月 October			
19	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)	6月30日(日)	本号6
2020年3月 March			
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)		
2020年9月 September			
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
9月23～27日(月～金)	第18回アジア太平洋化学工学連合会議 APCChE 2019(北海道)		本号6
10月17～19日	2019 CIESC Annual Meeting(Qingdao, Shandong Province)		
10月20～23日(日～水)	IMPRES2019 (The Fifth International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems)(石川県)		1号6
10月23～25日	KICChE Fall meeting(Daejeon Convention Center)		
11月8～9日	The 2019 TwIChE Annual meeting(東海大学, 台中)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
国際周期表年2019 記念事業(東京都)	2月23日～ 12月5日(土～木)	国際周期表年実行 委員会	info@iypt.jp http://iypt.jp
混相流レクチャーシリーズ44 格子ボルツマン法による 数値流体力学シミュレーション～基礎から応用まで～ (東京都)	5月10日(金)	日本混相流学会	029-861-8232 (029-861-7842) naoki-takada@aist.go.jp
第65回理論応用力学講演会(北海道)	5月17～19日 (金～日)	日本学会議	03-3355-3559 (03-5379-2769) hashimoto@jsce.or.jp
第32回環境工学連合講演会(東京都)	5月21日(火)	(一社)資源・素材 学会	https://rengo32-mmij.peatix.com/
第55回真空技術基礎講習会(大阪府)	5月21～24日 (火～金)	日本表面真空学 会・日本真空工業 会・大阪部技術協 会	0725-53-2329 (0725-53-2332) g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp https://www.jvss.jp/
第237回西山記念技術講座 「先進エネルギーマネージメントの発展を支える耐熱鋼開発」 (東京都)	5月22日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp
食品ハイドロコロイドセミナー2019 ～初心者のためのハイドロコロイド研究法の解説～ (東京都)	5月23日(木)	食品ハイドロコロ イド研究会	sympo@food.hydrocolloids.org http://food.hydrocolloids.org/sympo
界面コロイドラーニング ー第35回現代コロイド・界面化学基礎講座ー(東京会場) (東京都)	5月23～24日 (木～金)	日本化学会 コロイ ドおよび界面化学 部会	03-3292-6163 (03-3292-6318) dcsc@chemistry.or.jp http://colloid.csj.jp
第4回マルチスケール材料力学シンポジウム(北海道)	5月24日(金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第6回SBJシンポジウム(大阪府)	5月24日(金)	日本生物工学会	0743-72-5420 (0743-72-5429) hiro@bs.naist.jp https://www.sbj.or.jp/about/about_sbj_symposium.html
第30回食品ハイドロコロイドシンポジウム(東京都)	5月24日(金)	食品ハイドロコロ イド研究会	sympo@food.hydrocolloids.org http://food.hydrocolloids.org/sympo
塗料講演会/保守・補修に関する塗料と塗装および診断 技術(東京都)	5月24日(金)	色材協会 関東支部	03-3443-2811 (03-3443-3699) admin@jscm.or.jp
第238回西山記念技術講座 「先進エネルギーマネージメントの発展を支える耐熱鋼開発」 (大阪府)	5月29日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp
第24回計算工学講演会(埼玉県)	5月29～31日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) office@jscs.org http://www.jscs.org/koenkai/24

第56回日本伝熱シンポジウム(徳島県)	5月29～31日 (水～金)	日本伝熱学会	089-927-9724 (089-927-9724) symp2019@htsj-conf.org http://www.htsj-conf.org/symp2019/index.html
PetroPhase2019(石川県)	6月2～6日(日～木)	PetroPhase2019 組織委員会	03-6369-9984 (03-3453-1180) PetroPhase2019@issjp.com http://www2.issjp.com/peetrophase2019/
世界水素技術会議2019(東京都)	6月2～7日(日～金)	水素エネルギー協会	029-861-8712 (029-861-8712) org@whtc2019.jp http://whtc2019.jp
色材セミナー～未来志向の材料・技術～(大阪府)	6月5日(水)	色材協会 関西支部	06-6356-0700 (06-6356-0711) kansai@jscm.or.jp http://www.shikizai.org/
講和「レオロジー・クラシック」2019(京都府)	6月7日(金)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp
第78回技術セミナー 「様々なステンレス鋼と、それらの使い方」(東京都)	6月7日(金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
第30回年次大会 『新たな10年、「成形加工」でワクワクをカタチに!』 (東京都)	6月12～13日 (水～木)	プラスチック成形加工学会	http://www.jspp.or.jp
界面コロイドラーニング ー第35回現代コロイド・界面化学基礎講座ー(大阪会場) (大阪府)	6月13～14日 (木～金)	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会	03-3292-6163 (03-3292-6318) dcsc@chemistry.or.jp http://colloid.csj.jp
第30回キャタリシススクール(東京都)	6月19～21日 (水～金)	触媒学会	(045-339-3691) catschool2019@ynu.ac.jp http://www.shokubai.org/general/CatSchool2019/index.html
第138回学術講演会ー鉱山廃水対策の最前線ー(千葉県)	6月20日(木)	環境資源工学会	03-6459-2203 (03-3403-1776) rpsj@nacoss.com https://rpsj-138a.peatix.com/
第56回分析化学講習会(岡山県)	6月21日(金)	日本分析化学会 中国四国支部	086-256-9490 (086-256-9757) analchem@chem.ous.ac.jp http://www.chem.ous.ac.jp/~analchem/56koshukai/
第8回JACI/GSCシンポジウム(東京都)	6月24～25日 (月～火)	新化学技術推進協会	03-6272-6880 (03-5211-5920) fukui@jaci.or.jp http://www.jaci.or.jp
第67回表面科学基礎講座(東京都)	6月25～27日 (火～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp
No.19-206 環境工学国際ワークショップ2019(沖縄県)	6月25～28日 (火～金)	日本機械学会	03-5360-3506 (03-5360-3509) env-symp2019_admin@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/env/iwee/2019/
No.19-4 第29回環境工学総合シンポジウム2019(沖縄県)	6月25～28日 (火～金)	日本機械学会	03-5360-3506 (03-5360-3509) env-symp2019_admin@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/env/see/2019/

第48回医用高分子シンポジウム(東京都)	7月1～2日(月～火)	高分子学会 医用高分子研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) y-tanaka@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
第3回アジア赤外線サーモグラフィコンファレンス(東京都)	7月1～5日(月～金)	日本非破壊検査協会	03-5609-4011 sec@qirtasia2019.com https://qirtasia2019.com/
第56回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月3～5日(水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/
安全工学シンポジウム2019(東京都)	7月3～5日(水～金)	日本学会会議 総合工学委員会	03-3262-6605 anzen@gakkai-web.net
スケジューリング国際シンポジウム2019(島根県)	7月5～7日(金～日)	スケジューリング学会	078-803-6250 (078-803-6391) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/iss/2019/
第14回再生可能エネルギー世界展示会(神奈川県)	7月10～12日(水～金)	再生可能エネルギー協議会	http://www.renewableenergy.jp
PV2019太陽光発電展示会&フォーラム(神奈川県)	7月10～12日(水～金)	日本工業新聞社	03-5297-8855 (03-5294-0909) info@pvfair.jp http://www.pvfair.jp
メンテナンス・レジリエンスTOKYO2019(東京都)	7月24～26日(水～金)	日本プラントメンテナンス協会, 日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mente@jma.or.jp
日本混相流シンポジウム2019(福岡県)	8月5～7日(月～水)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) konsosymp@jsmf.gr.jp
第28回日本エネルギー学会大会(大阪府)	8月7～8日(水～木)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai28happyo@jie.or.jp http://www.jie.or.jp
第67回年次大会 工学教育研究講演会(宮城県)	9月4～6日(水～金)	日本工学教育協会・東北工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/
Marine Biotechnology Conference 2019(静岡県)	9月9～13日(月～金)	マリンバイオテクノロジー学会	03-6205-5601 (03-6505-5602) mbc2019@marinebiotechnology.jp http://marinebiotechnology.jp/mbc2019/
日本流体力学会 年会2019(東京都)	9月13～15日(金～日)	日本流体力学会	nenkai2019-ml@uec.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/nenkai2019/
ケミカル マテリアル Japan2019(神奈川県)	9月18～19日(水～木)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) ta_hirano@chemicaldaily.co.jp
プラントエンジニアリング ASIA2019(バンコク(タイ))	10月2日～12月4日(水～水)	日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mra@jma.or.jp
第67回レオロジー討論会(滋賀県)	10月16～18日(水～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
EcoDesign2019 第11回環境調和型設計とインバースマニユファクチャリングに関する国際シンポジウム(神奈川県)	11月25～27日(月～水)	エコデザイン学会 連合, 産業技術総合研究所	03-5841-6478 (03-5841-6478) ecodesign2019_secretariat@ecodenet.com http://ecodenet.com/ed2019/
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flow (ICJWSF-2019)(香港)	12月1～5日(日～木)	ICJWSF-2019 組織委員会	(852) 2358-7184 (852) 2358-1543 icjwsf@ust.hk http://icjwsf2019.ust.hk

第39回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月4～5日 (水～木)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	2020年3月 8～11日(日～水)	COMPSAFE2020実 行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org

APCChE 2019 ポスター発表締切と参加登録料金について

第18回アジア太平洋化学工学連合会議(The 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress)

主催 公益社団法人化学工学会

日時 2019年9月23日(月)～27日(金)
会場 札幌コンベンションセンター(〒003-0006
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

2019年は秋季大会が開催されません。ぜひ国際会議APCChE 2019にご参加ください。
繁忙期なので、早めのホテル予約をおすすめします。

〈ポスター発表〉

口頭発表申込は4月15日に締め切りましたが、ポスター発表申込は6月15日まで受け付けます

ので、ふるってお申込みいただきますようお願い申し上げます。ホームページのAbstract Submission頁でアカウントを作成してから、ポスター発表の登録画面に進み投稿してください。
(Student Program)

9月23日に開催される Student Program – Research Proposal on SDGs from Youthの研究提案は5月31日まで受け付けますので、ふるってお申込み下さい。ホームページの Student Program 頁をご参照下さい。

〈参加登録料金〉

参加費は下記のように設定されています。ホームページ上でカード支払決済となります。学生についてはコンビニエンスストアでの支払いも

可能です。早期割引期間の支払いをおすすめいたします。

	早期割引	事前参加	当日参加
期日	～6/30	7/1～31	8/1以降
一般	50,000円	60,000円	70,000円
学生	20,000円	25,000円	30,000円

7月31日でホームページでの参加登録は終了し、それ以降は、すべて当日受付となります。なお、Congress dinnerと同伴者の登録についてはホームページ上でご確認ください。

問い合わせ先 AP2019@scej.org
ホームページ <http://apcche2019.org/>

「上席化学工学技士」試験 案内

試験申込期間：2019年6月1日(土)～30日(日)

(一次)書類提出期限：2019年6月30日(日)

(二次)論文提出期限：2019年8月15日(木)必着

(三次)面接審査日：2019年10月19日(土)

合格発表：2019年11月上旬

「上席化学工学技士」とは、化学工学に関連した知識をベースに、特に高度な専門的応用能力を必要とする化学技術に関する業務(研究、技術開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、技術管理、建設、プロジェクト統括、情報処理など)を指導的立場で行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。

なお、技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます。(退会とともに失効します)

能力水準

化学工学・プロセス工学の幅広い知識と経験を有し、俯瞰的な解析・決定ができること。

受験資格

- (1) 化学工学会の個人正会員であること。会員外の方は事前に会員申込を行って下さい。(申込申請から入金確認ができるまでに約3週間要する場合があります。)
- (2) 化学技術の分野の中で高度な専門性を持ち、また、その分野においては社会から専門家として認められるような能力があり、さらに技術指導ができる能力を有すること。
- (3) 化学工学を含む化学技術分野の専門的業務に携わり、15年以上の実務経験を有すること。(但し、化学工学技士の資格があれば10年で受験可)
- (4) 上述の専門的業務は、以下の何れかの職種において、高度な専門的応用能力を必要とする

業務を含むものであること。

(職種) 研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト総括、情報処理など

(注) 学校教育法の大学院修士課程又は博士課程(化学工学関連分野専攻に限る)に在学していた方は(2)の実務経験に2年を限度として算入することができます。

試験 以下の提出内容に基づき、受験資格要件を満たしているかどうかの判定を行います。

業務履歴(事業者の証明印必要)用紙はホームページよりダウンロードして下さい。

社内外の化学工学に関する活動リスト(社外発表、社内発表、特許、論文、雑誌投稿、学会活動、本の執筆、講演会講師等)を書き切れない場合は、別途に記載しても構いません。但し、提出時には1つのファイルとして下さい。

(二次)論文審査

書類審査合格者に対して、①課題論文と②業務論文による論文審査を実施します。

課題論文：所定のフォームでA4用紙2枚以内
業務論文：所定のフォームでA4用紙3枚以内
(注)枚数と提出期限を守ってください。

課題論文は、出題された課題に対して論文を提出していただきます。高度な専門知識およびその応用能力があるかどうかを判定するものです。但し、A4用紙2枚以内厳守。

業務論文は、次に示す3つの事項に関してま

とめて頂きます。但し、(1)～(3)をまとめて、A4用紙3枚以内厳守。

- (1) 技術実績：A4用紙2枚以内厳守
- (2) 専門技術：A4用紙0.5枚以内厳守
- (3) 指導力：A4用紙0.5枚以内厳守

(三次)面接試験

論文審査合格者に対して、面接試験を実施します。

内容：課題論文、業務論文および資格要件(業務履歴、活動リスト、資格)に関する質問

受験料(税別)

受験時に個人正会員であることが必要です。

「化学工学技士」保有：受験料20,000円＋消費税(8%)

「化学工学技士」非保有：受験料25,000円＋消費税(8%)

化学工学技士保有者とは、認定期間中の認定証を保有している方(試験に合格した後、登録と更新を完了させている方)を指します。認定期間を終えている方は対象外となります。

申込方法 化学工学会ホームページ (<http://www.scej.org/>)の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ (https://service.kkts.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm)で「2019年 上席化学工学技士 申込受付」を選択し、お申し込み下さい。申込後、振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニで

お支払下さい。

※申込の際に、(一次)書類審査に必要な業務履歴証明書を添付して頂きます。事業者(人事部長または人事部長に相当する方)の証明印が必要ですので、事前に書類をご用意下

さい。

問い合わせ先・書類送付先
公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局「上席化学工学技士」係

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「化学工学技士」試験 案内

申込期間：2019年6月1日(土)～7月20日(土)
試験日時：2019年8月24日(土)10:45～16:45
合格発表：11月上旬

「化学工学技士」は、化学工学に関連した専門の応用能力を必要とする化学技術に係る業務(研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト統括、情報処理)を行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。

なお、技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます。(退会とともに失効します)

能力水準

化学工学・プロセス工学の高度な専門知識と応用能力を修得しており、ものづくり現場の責任ある業務を行うことができること。

受験資格 なし

試験会場

東京会場：準備中
大阪会場：大阪化学技術センター
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>
詳細は、ホームページ (https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm) で「2019年化学工学技士申込受付」を選択して確認して下さい。

試験内容 筆記試験により審査します。

実務経験10年程度が目安となります。筆記試験では、化学工学一般、専門知識、及び、その応用能力があるかを試験します。試験は休憩時間をはさみ、第一部試験と第二部試験に分かれております。

第一部試験(11:00～12:30)

化学工学の基礎的な能力を問う問題で、「化学工学技士(基礎)」資格認定試験相当です。

出題は、プロセス取次、流動、伝熱、反応、分離技術の5分野より各1題です。

「化学工学技士(基礎)」資格保有者は、第一部試験を合格したものとみなし、受験を免除されます。(「化学工学技士(基礎)」資格の認定期間、取得から8年間限定です)

参考書等の持ち込みは禁止されております。

第二部試験(13:45～16:45)

※2019年度より配点を変更します。

1. 課題解決・設計問題【3題解答(内1題必須)】(60点)

「化学工学技士」として業務で遭遇する問題を解決するために必要な基本的知識や対応の仕方などを問う。数値を議論し、化学工学的な思考を問う問題を1題(必須)も含む。

2. 用語説明【3題選択回答】(15点)

「化学工学技士」として知っていて欲しい技術用語の説明、および、実務での使用例を簡潔に記述。

3. 技術課題と技術動向(25点)

「化学工学技士」として関心を持って欲しい技術課題や技術動向についての見解を自らの

実務経験と照らし合わせて論述。

新技術、安全、環境、資源・エネルギー分野や人材育成などについて、与えられた課題の中から1課題を選択し、小論文(1200字以内)を作成。

※第一部試験の合格と第二部試験の合格を両方合わせて、「化学工学技士」試験の合格と致します。

※合格者に対して、評価(S, A, B, C)を設け、本人にフィードバック致します。
※試験詳細と過去の試験問題は、ホームページ (<http://www.scej.org/qualification/shikaku-gishi.html>) をご確認ください。

学習内容及び参考図書

*第一部試験

次の図書などを参考にして学習して下さい。

参考図書

- ・「解説化学工学改訂版」(培風館, 本体3,200円)
- ・「改訂新版 化学工学通論I」(朝倉書店, 本体3,800円)
- ・「化学工学 改訂第3版 - 解説と演習 - 化学工学会監修」(朝倉書店, 本体2,500円)
- ・「化学工学概論」(産業図書, 本体3,200円)
- ・「技術者のための化学工学の基礎と実践 化学工学会編」(アグネ承風社, 本体2,400円)
- ・「基礎化学工学」(共立出版, 本体3,000円)
- ・「基礎化学工学 化学工学会編」(培風館, 本体2,800円)
- ・「基礎からの化学工学」(東京化学同人, 本体3,600円)
- ・「現代化学工学」(産業図書, 本体4,000円)
- ・「はじめての化学工学 化学工学会高等教育委員会編」(丸善出版, 本体2,800円)
- ・「はじめて学ぶ化学工学」(丸善出版, 本体1,900円)
- ・「標準化学工学」(化学同人, 本体3,200円)
- ・「標準化学工学I - 取次・流体・伝熱・平衡分離 -」(朝倉書店, 本体2,700円)
- ・「標準化学工学II - 反応・制御・速度差分離 -」(朝倉書店, 本体2,700円)
- ・「ベーシック化学工学」(化学同人, 本体2,800円)

※その他、79巻1号に掲載された教科書一覧(pp.45-49)もご参考にして下さい。

*課題解決・設計問題

実務上の経験や継続教育講座(4号会告7～15ページ参照)のテキストや修了レポートなども活用して整理して下さい。

*用語説明

化学工学に関連する基礎的な用語を学習して下さい。

*最近の技術課題および技術動向

化学工学誌10月号「化学工学年鑑」など。

資格取得のメリット

(1)化学工学に関する知識・能力を持っていることをアピールできます。

(2)プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」(本号会告8ページ参照)に参加できます。

(3)上席化学工学技士試験に必要な実務経験年数が短縮(15年⇒10年)されます。

(4)上席化学工学技士試験を割引価格【25,000円→20,000円(2019年度)】(税抜)で受験できます。

受験料(税別) 消費税は8%です。

受験資格		受験料
化学工学技士(基礎)保有者	個人で会員資格を有する方	8,000円
	上記以外の方	20,000円
化学工学技士(基礎)非保有者	個人で会員資格を有する方	15,000円
	上記以外の方	27,000円

申込方法 化学工学会ホームページ (<http://www.scej.org/>) の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ (https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm) で「2019年化学工学技士申込受付」を選択し、お申し込み下さい。申込後、振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。

「継続教育ポイント」による受験について

「継続教育」各講座の受講と修了レポートや化学工学技士(基礎)取得によって「継続教育ポイント」を獲得できます。また、獲得した「継続教育ポイント」の合計が100ptに達した受講者には、100ptにつき1回、「化学工学技士」資格認定試験を受験する機会を無料で提供しております。

「継続教育ポイント」の獲得に関する詳細は、4号会告8ページをご確認下さい。

正会員の方はマイページの『受講ポイント閲覧』に「継続教育ポイント」が表示されております。([「参加行事閲覧」]には、受講履歴及び各行事におけるポイントの明細が表示されています)

個人で会員になられていない方(例えば、法人会員の社員)で、自らの獲得ポイントをご確認したい方は、同姓同名を判別するために、氏名、ふりがな、会社名、生年月日、e-mailアドレスを明記の上、jinzai-seminar“アットマーク”scej.orgまでメールでお問い合わせ下さい。所定の要項を記してご連絡頂けましたら、取得した「継続教育ポイント」と、「参加申込(会員の方)」の青色のボタンから入るために必要なIDとPWをお伝えします。

お問い合わせ

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局「化学工学技士」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

人材育成センター

第17回上席化学工学技士交流会 (東京)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2018年までに188名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様との交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所で開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のもと、意見交換がなされてきました。

今後とも東京、大阪の両方で上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加下さいませようお願い申し上げます。

日時 2019年5月9日(木) 14:00～19:00

対象 「上席化学工学技士」資格保有者

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

内容

司会：上席化学工学技士(日揮(株))
大野拓也氏

1. 参加者自己紹介、名刺交換(14:00～14:30)
2. 話題提供「中国での環境規制の現状と対応プラントの開発事例の紹介」(14:30～15:30)
上席化学工学技士(大川原化工機(株))
古川和邦氏
3. 話題提供「設備管理のスマート化」(15:30～16:30)
上席化学工学技士(横河ソリューションサービス(株))
長澤英治氏
4. 総合討論(講演内容およびその他テーマにて意見交換)(16:30～17:00)
(場所を移動)
5. 交流懇親会(17:30～19:00)

募集定員 24名(定員になり次第締切)

申込締切 5月6日(月)

参加費(税込) 4,000円(当日会場受付でお支払下さい)

申込方法 化学工学会ホームページよりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: qualification“アットマーク”scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

第2回「しごとの常識」塾 ～基本編②チームワーク～

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

化学工学会人材育成センターでは、「化学工学技士」資格者のキャリアアップ、現役力強化を支援する目的で、2019年度よりプレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」を

開講致します。

プレミアム講座は、「しごとの常識」塾(年3、4回)と特別教室(初回は2020年3月頃開催予定)で構成されており、「しごとの常識」塾では、キャリアアップのための実務能力を得るための基本的な知的情報を対話形式で提供します。

日時 2019年7月6日(土)13:00～17:30

場所 リファレンス小倉魚町貸会議室4F 貸会議室406

〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町1-4-21 魚町センタービル4F

(JR小倉駅小倉城口(南口)下車徒歩5分、モノレール小倉線平和通駅下車徒歩2分)

対象 「化学工学技士」資格保有者

講習目標 「しごとの常識」塾の入塾者には、基本編、中堅編、上級編を通して、それぞれ以下のような様々なテーマによるディスカッションを通して、マインドセット涵養の動機を与え、多様性と外発性が備わった自由な発想ができる“知的生産性の高い技術者”を目指すことを促します(心・体・理・知・行のバランスのとれた胆力)。

テーマ：組織、コミュニケーション、人材育成、リーダーシップ、事業戦略、生産性、人脈構築、技術革新など更に化学工学を遠投し、社会と自己の将来を展望します。(深層テーマは自由と余裕)

講座内容

1. インタロ(13:00～13:45)
2. チームワークとしごとの常識(14:00～17:30)
その①チームワークの定義他(14:00～15:30)
その②チームワークの定義を踏まえて派生するしごとの常識(16:00～17:30)

講師

伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員、化学工学会名誉会員)

募集定員 15名(定員になり次第締切)

参加費(税込) 基本編、中堅編、上級編を通して、初回5,000円(入塾料1,000円含む)、二回目以降は4,000円/回。当日会場受付でお支払下さい。

2019年度開催計画

●第3回

日時 10/5(土)13:00～

会場 東京化学工学会会議室

テーマ 基本編③ボトムアップ

申込方法 次のURLよりお申し込み下さい。
<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: qualification“アットマーク”scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

2019年度インターンシップのご案内

主催 化学工学会人材育成センター 高等教育委員会

化学工学会では「企業の中で、化学工学の知識を活用できるテーマの研修を体験し、化学工学

の位置付けを理解すること」を目的としたインターンシップを、2006年度から行っております。

特長

- (1) 化学工学の知識を活用できるテーマの研修です。
- (2) 主に、夏期(7～9月)に、2～8週間程度の研修を行います。
- (3) 学生間での情報交換を図るため、報告会・交流会を行います。

申込資格

- (1) 化学工学会の会員であること。
- (2) 大学院生であること。
- (3) 指導教員の推薦状があること。

入会申込に関する諸注意

入会時期に関わらず、年会費は同額です(3～8月入会は5,500円/年)。未入会の方は速やかに手続きして下さい。

WEBから入会フォームに登録すると、登録されたメールアドレスに「公益社団法人化学工学会入会申込 確認メール」が届きます。仮登録のメールなので、1時間以内に本文の本登録用URLをクリックしないと手続きが完了しません。(1時間以上経過した場合は無効になりますので、WEB登録から手続きをやり直して下さい)

本登録が完了した方には、会費請求書が送付されますので、郵便局/ゆうちょ銀行、または、コンビニでお支払下さい。(郵便局の場合、手続日から入金確認ができるまでに3日～1週間要します。コンビニの場合、更に1～2週間要する場合がありますのでご注意ください)

入金確認が完了するとインターンシップへの申込ができるようになります。

入金確認はマイページにログインしてご確認できます。本登録完了時に送信されたIDとPWでログイン後、会員メニューの「請求入金情報・クレジット決済」情報に進んで下さい。

「請求入金情報・クレジット決済」の「請求履歴」で、2019年度の「入金済金額」に金額が入っていれば完了しており、申込ができる状態です。2019年度の「入金済金額」が0の場合は完了していません。

申込期間 2019年6月1日(土)～20日(木)13:00 厳守

申込方法 ホームページ (<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>)で「2019年度インターンシップ」を選択し、「参加申込(会員の方)」のボタンよりお申し込み下さい。

※申込は1人1テーマのみです。

※申込の際に、指導教員推薦状を添付して頂きます。事前に書類をご用意下さい。詳細はホームページよりご確認ください。

再マッチングについて

合否が判明次第、希望者には学会よりご連絡します。

報告書の提出について

研修終了次第、速やかに報告書を提出して下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 高等教育委員会「インターンシップ」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: internship_2019“アットマーク”scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

産学官連携センター

第119回技術懇談会

第119回 SCE・Net技術懇談会を下記により開催いたします。

今回の講演1では、元西部ガス(株)の太田啓氏により、在職中の経験に基づいて、幾多の都市ガス原料変遷に伴い、ガス製造設備更新に化学工学的手法を如何に活用できたかをお話しいたします。講演2では、東京大学准教授の井原智彦氏により、東京の気温は、地球温暖化により1℃、更にヒートアイランド現象を含めると3℃上昇するに至っている。都市の気温上昇の影響、地表面の熱収支構造に着目して、都市の気温を下げることにどのような方策が期待できるかを解説いただきます。

日時 2019年5月30日(木)15:00～17:20

場所 文京区立アカデミー茗台(区立茗台中学校に併設)7F 学習室B
東京都文京区春日2-9-5
TEL: 03-3817-8306

<http://www.b-academy.jp/rental/ac-meidai/index.html>

東京メトロ丸の内線茗台谷駅下車春日通りを右手に徒歩10分

15:00～15:45(討論5分)

講演1 「私と化学工学」

SCE・Net会員 元西部ガス(株) 太田 啓氏
15:45～17:20(討論15分)

講演2 「気候変動とヒートアイランド現象に伴う都市の気温上昇、およびその対策」

東京大学大学院新領域創成科学研究科
環境システム学専攻 准教授 井原智彦氏

定員 40名

会費 1,000円(当日会場受付でお支払い下さい)但しSCE・Netの法人会員は無料です。

参加申込 お名前、勤務先、所属部署、連絡先(所在地、TEL、FAX、E-mail)を記載して、E-mailで2019年5月23日までに、お申し込み下さい。

申込先 SCE・Net事務局

E-mail: scenet@scej.org

歩約7分

講演会 15:00～16:50

1.「廃棄物処理の動向と自社廃棄物処理施設の現状」

オオブユニティ(株) 浜辺 久氏

2.「日本の現状を踏まえ、構築すべきエネルギーシステムとは」

岐阜大学 中川二彦氏

懇談会 17:00～19:00 ラ・ローゼ・プロヴァンスじゅうろくプラザ1F

詳細 下記のURLをご覧ください。

<http://www.ach.nitech.ac.jp/~chemeng/GTHP/gttop.htm>

申込方法 懇談会参加の有無をご記入いただき、5月28日(火)までに下記連絡先のメールアドレス宛てにお申し込み下さい。

講演会(参加無料)の直後、講師を囲んでの懇談会に参加される方は、当日4,000円を申し受けます。

連絡先 GT委員会 庶務担当 南雲 亮

E-mail: nagumo@nitech.ac.jp

グローバルテクノロジー(GT)委員会 2019年度第2回委員会

日時 2019年6月4日(火)15:00開始

場所 岐阜市文化産業交流センター じゅうろくプラザ5階 小会議室1

〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10番地11

JR東海道線 岐阜駅隣接 徒歩約2分
名古屋鉄道名古屋本線 名鉄岐阜駅下車 徒歩

部 会 C T

第9・10回 行動特性研究会

主催 (公社)化学工学会 安全部会

後援 (株)化学工業日報社

「ノンテクニカルスキル」とは、テクニカルスキルを補って完全なものとし、安全かつ効率的な業務の遂行に寄与するスキルを言います。このスキルは、状況認識、コミュニケーション、リーダーシップ、意思決定などにより構成され、ヒューマンファクターに係るエラーを防止し、安全を確保していくための現場(指示する方も)がもつべきスキルと言うことができます。

行動特性起因の事故を抑制する活動は、規律遵守性の向上や思い込み防止を目指し、ヒューマンファクターに係るエラーを防止し、安全を確保していく中で重要だと認識されてきた。

近年、様々な分野でノンテクニカルスキル起因及び行動特性起因の事故の割合が増大していることが注目されており、化学・石油等のプラント・オペレーションの分野では、AGC(株)においていち早く14年前から社内教育に取り入れられ、成果を挙げてきました。

この研究会は、そのようなご要望にお応えするため、全産業分野を対象にしたノンテクニカルスキル起因・行動特性起因の事故抑制についての知見の交流とレベルアップを目的として、(公社)化学工学会 安全部会が企画・実施する先駆的な試みです。

対象 製造部門、工務部門、環境安全、人材育成部門を問わず下記の方

1) 他業界のノンテクニカルスキル教育の実践的プログラムを知りたい方

2) AGCの教育現場を見学して自社教育の参考にしたい方

3) 行動特性評価を成功させたい方

4) いろいろな安全活動をやっているが労災が発生し、その抑制を目指したい方

内容

1) 医療業界におけるノンテクニカルスキル教育の紹介

コミュニケーション演習の体験も含む

2) 公開悩み相談室あるいは製油所の見学

3) コミュニケーションの「言い出す勇氣」と「聞く力」の行動特性評価のその後の展開と結果

4) 「ノンテクニカルスキル教育の好事例」の発表

5) 「行動特性評価の成功手法」

6) 「根岸製油所のノンテクニカルスキル」教育の見学

7) 交流会

内容は予告なく変更される場合がありますが、ご承知おきください。

◆第9回

日時 2019年5月31日(金)10:50～17:00

場所 JXTGエネルギー(株)根岸製油所小ホール
JR根岸線根岸駅から800m 陸側に降り、北へ。

講師 東京慈恵医科大学附属病院 海渡先生
南川忠男(安全部会事務局長、AGC(株)千葉工場環境安全部)他

募集人員 40名

受講料 25,000円(税別)交流会は3,000円(税別)。事前振込(講演者、発表者は無料)。

受講料の送付はございません。

受講料に含まれているもの: 500ccドリンク、

ランチ、予稿集。

特典 6月28日開催の第10回行動特性研究会の予稿集も合冊となります。

申込方法 安全部会電子受付サイト(下記URL)よりお申込みください(電話・FAXによるお申し込みはご遠慮ください)。

<http://www2.scej.org/anzen/event/other.html>

第二科目の公開悩み相談室で取り上げてほしい相談・悩みがありましたら、備考欄にご記入ください。当日意見交換します。

又、この時間には製油所の見学も開催されます。備考欄に公開悩み相談室か製油所見学どちらか希望か記入してください。

記入しない場合は希望の少ない方にご手配します。

お問い合わせは電子メールのみです。

また、お申し込み受付は満席あるいは予告なく締め切らせていただく場合がありますのであらかじめご承知おきください。

◆第10回

日時 2019年6月28日(金)10:30～17:00

場所 AGC千葉工場ミククラブ研修室及び入構教育会場

送迎バスが準備されます。

五井駅西口発10:10のAGCの送迎バスにお乗りください。

(下り快速9:56及び上り10:05に対応)

交流会に参加されない方の帰りはAGCの社員送迎バス工場バス乗り場発17:00

交流会に参加された方は18:30、18:50、19:10、19:30、19:50

講師 東京慈恵医科大学附属病院海渡先生

南川忠男(安全部会事務局長, AGC(株)千葉工場環境安全部)他

募集人員 30名

受講料 30,000円(税別)交流会は3,000円(税別)。事前振込(講演者、発表者は無料)。受講票の送付はございません。

受講料に含まれているもの:500ccドリンク、ランチ、予稿集、下記CD

持ち物 はさみとのり

特典 当日の参加者は当日見学される注意力の音声収録判定設問、注意力判定記入用紙、説明パワポ及び当日の「注意深くならう」教育テキストの電子版がCDに格納されて配布される(1事業所ひとつ)。5月31日開催の第9回行動特性研究会の予稿集も合冊となります。

申込方法 安全部会電子受付サイト(下記URL)よりお申込みください(電話・FAXによるお申し込みはご遠慮ください)。
<http://www2.scej.org/anzen/event/other.html>
第五科目の公開悩み相談室で取り上げてほしい相談・悩みがありましたら、備考欄にご記入ください。当日意見交換します。お問い合わせは電子メールのみです。

問合せ先 安全部会事務局(下記URLからメールフォームによりご送信ください)
<http://www2.scej.org/anzen/contact/>

若手社員向け プロセス安全入門セミナー

主催 (公社)化学工学会 安全部会
後援 (株)化学工業日報社

近年、日本の化学・石油等のプラント・オペレーションの分野においてプロセス安全管理(PSM)の重要性が認識されてきたものの、若手社員にとっては、いまだにプロセス安全とは何か、なぜそれが重要なかが分かってもらえず苦勞しているという意見が多く寄せられています。ま

た、プロセスのリスクアセスメントをしっかりとやり遂げようというモチベーションが維持できず、やらされ感に悩んでいる若手社員もいるとの意見もあります。

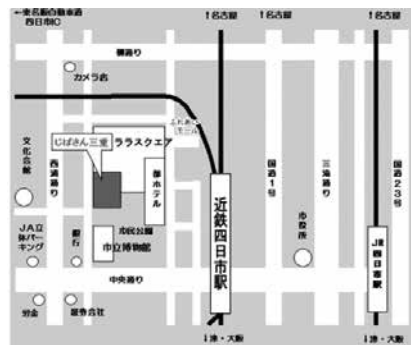
このような課題があった昭和四日市石油(株)では2017年より、新入社員研修時、プラントオペレーター研修時などの場で「プロセス安全コース」と題した、ビデオと写真を使ったグループワーク形式のトレーニングによって社員はプロセス安全を理解し、Work Force Involvementに成果を挙げて来しました。

その成果が知られるようになってくるとともに関係者の関心が高まりコースを受けてみたいという方、またそのコースの教え方を身に付けたいという希望が数多く寄せられるようになりました。

このセミナーは、そのようなご要望にお応えするため、プロセス安全マネジメント及び人材育成の先駆的活動を知っていただき産業界全体のレベルアップを目的として、(公社)化学工学会 安全部会が企画・実施する試みです。(この回が好評であれば秋2回目を東京で開催予定)

日時 2019年7月5日(金)13:30~16:50

場所 じばさん三重2FL 第四研修室
近鉄四日市駅(近鉄名古屋から急行約45分)から400m 歩いて6分



内容

- 1) プロセス安全とは何か
- 2) ビデオと写真で最悪の事態を知る

- 3) バリア(リスク低減措置、独立防護層)は何か
- 4) バリアを有効にするための業務は何か
- 5) リスクアセスメントに必要な事は何か
- 6) プロセス安全マネジメントの構造を考える

このセミナーは、講師からの質問に対する回答、グループディスカッション、壇上で発表してもらおう形式で行います。

内容は予告なく変更される場合がありますが、ご承知おきください。

対象 製造部門、工務部門、環境安全を問わず下記の方

- 1) 入社から20年程度までの方
- 2) プロセス安全管理の重要性を教える指導的立場の方
- 3) プロセス安全の視点を社内に普及させたい方
- 4) HAZOP, BowTie, LOPA, 多重防護層を平易に理解したい方

講師 田邊卓也氏(昭和四日市石油)

募集人員 36名

受講料 20,000円(税別) 事前振込。お申し込み後、請求書を送付します。受講票の送付はございません。

法人賛助会員は1名5,000円引き(2名まで)

申込方法 安全部会電子受付サイト(下記URL)よりお申込みください(電話・FAXによるお申し込みはご遠慮ください)。お問い合わせは電子メールのみです。

<http://www2.scej.org/anzen/event/other.html>

4月1日からの申し込みとなります。また、お申し込み受付は予告なく締め切らせていただく場合がありますのであらかじめご承知おきください。

問合せ先 安全部会事務局(下記URLからメールフォームによりご送信ください)

<http://www2.scej.org/anzen/contact/>

上記電子受付サイト及びお問い合わせ用メールフォームは「化学工学会 安全部会」で検索をしていただくヒットする安全部会ホームページ上でボタン・リンクによる誘導に従っていただくことと到達することができます。

地 域 C T

東北支部

第21回先端研究発表会・講演会

主催 化学工学会東北支部、宮城化学工学懇話会

日時 2019年6月8日(土)

会場 東北大学工学部(青葉山キャンパス)
仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

近年、研究成果の量を重んじるあまり、結果を深く掘り下げて考える時間を十分に取れないまま日々研究を進める状況が多く見受けられます。また、多くの学会でポスターが主要な発表形式となっており、口頭発表を通じて若手研究者が自ら気づく機会が少なくなっている現状もあります。これらのことは先端研究の先進性や萌芽段階としての「気づき」の機会が少なくなっていることにつながります。化学工学会東北支部では昨年度に引き続き、宮城化学工学懇話会との共同主催で、東北地方および東北地方以外

の地方から、先端研究に関連する口頭発表を募集します。また、若手研究者からの講演会も同時開催いたします。

ホットな研究や開発の話題提供を期待するとともに、若手学生や研究員の研修の場としても活用いただき、将来、国際的な化学工学研究が期待できる人材の育成を目指す発表会とします。また懇親会を通して、先端研究に携わる学生だけでなく教員、産官研究者間の交流も深まることを期待します。

発表会 14:00~(申込件数に応じて変更する可能性があります)

会場 青葉記念会館4階大研修室

講演会 17:00~

「位相シフト技術を導入した新規光学計測手法の開発-熱物質輸送現象のマルチスケール計測-」

庄司衛太氏

会場 青葉記念会館4階大研修室

懇親会(発表会表彰式、フリーディスカッション)
18:00~

会場 青葉記念会館3階 レストラン「四季彩」

参加費 一般:1,000円、非会員:3,000円、学生:無料

懇親会費 一般:2,000円、非会員:3,000円、学生:1,000円

発表の形式 口頭発表(発表9分、質疑5分、交代1分を予定していますが、申込件数によっては各時間を変更する場合があります)。発表スライドは日本語でも構いません。

発表申込方法 東北支部のホームページ(<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>)から申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、advance@tranpo.che.tohoku.ac.jp宛でお申し込みください。発表要旨(書式は後日ホームページに掲載)も合わせてご提出いただきます。なお表彰式は懇親会のなかで行います。発表者はやむを得ない事情を除き、懇親会にご参加いただくこととなりますことをご了承ください。

発表申込・要旨提出締切 5月24日(金)

発表申込に関する詳細は後日、東北支部のホームページ(<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>)に掲載いたしますのでご参照ください。

発表会参加申込方法 参加者のお名前、所属、連絡先 (E-mail, TEL等)、懇親会の出欠を記入の上、E-mailまたはFAXにて下記連絡先までお申し込み下さい。

参加申込締切 5月31日(金)
連絡先 仙台市青葉区荒巻青葉6-6-07
 東北大学工学部化学・バイオ工学科内
 化学工学会東北支部事務局
 TEL&FAX: 022-712-0887
 E-mail: scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp



関 東 支 部

第6回

「初心者のための化学工学入門」

主催 (公社)化学工学会関東支部, 化学工学会 SCE・Net

企業で生産あるいは技術開発などに従事されて、業務上化学工学の知識や考え方が必要であるにもかかわらず、大学、高专などで化学工学を学んで来なかった、あるいは十分に学べなかった初心技術者を対象にした講座です。化学工学の基礎的な考え方や実用的な計算を身につけていただくことを目的に開講致します。

講師は、企業で技術開発を担ってきた化学工学会SCE・Netに所属するベテランの化学工学技術者が当たり、自らの実務経験を反映させて分かり易い講義に努めます。「化学工学の基礎」、「流体工学」、「熱工学」、「反応工学」、「分離工学I(蒸留)」、「分離工学II(ガス吸収・膜分離)」の6テーマに分け、それぞれのテーマについて内容を絞り、3時間で考え方や計算例を分かり易く講義します。本講座で化学工学の初歩を学ばれた皆様はさらに化学工学を深く学ぶ機会として、秋に開催される「基礎化学工学講習会」に繋がります。

企業の人事・教育をご担当される方々におかれましては、化学工学を学んでこなかった技術者の方々の教育に、ぜひ「初心者のための化学工学入門」をご活用下さい。

日時 2019年6月17日(月), 24日(月), 7月1日(月)9:30~12:30, 13:30~16:30
会場 化学工学会会議室(文京区小日向4-16-19 共立会館5階 TEL: 03-3943-3527)
 最寄駅 地下鉄(東京メトロ)丸の内線茗荷谷駅下車1分

プログラム

第1日目 6月17日(月)
 9:30~12:30 化学工学の基礎入門 福原三郎氏
 13:30~16:30 流体工学入門 宮本公明氏
 第2日目 6月24日(月)
 9:30~12:30 熱工学入門 山本一己氏
 13:30~16:30 反応工学入門 稲葉正志氏
 第3日目 7月1日(月)
 9:30~12:30 分離工学I(蒸留)入門 竹内 亮氏
 13:30~16:30 分離工学II(ガス吸収・膜分離)入門 中尾 眞氏

持参品 筆記用具、関数電卓をご持参ください。

申込締切 2019年6月14日(金)

募集人員 25名(先着順、定員になり次第締め切ります)

参加費
 化学工学会正会員 3日間(6テーマ) 24,000円,
 1テーマ(半日) 5,000円
 法人会員の社員 3日間(6テーマ) 30,000円, 1
 テーマ(半日) 6,000円

会員外 3日間(6テーマ) 35,000円, 1テーマ(半日) 7,000円

*参加費には資料代および消費税を含みます
支払方法 受付後、参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込み下さい。当日会場での現金支払いも可能ですが、当日になってのキャンセルの場合も参加費のご請求をさせていただきます。

申込方法

・Web申込み
 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催のご案内の『第6回初心者のための化学工学入門』をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・FAX, E-mailによる申込み
 参加者氏名、勤務先(所属部署まで)、連絡先(郵便番号、勤務先住所、電話番号、FAX番号)、会員資格、ご希望のテーマを明記して下記までお申し込み下さい。尚、請求書ご希望の方は「請求書要」と明記してください。

申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
 公益社団法人 化学工学会 関東支部
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
 E-mail: info@scej-kt.org
 HP: <http://www.scej-kt.org>

第60回 関東技術サロン講演会 「次世代型工場の構築 ~AI・IoTの活用事例~」

主催 (社)化学工学会関東支部

「ダイセル式」は、化学の枠を超え、自動車メーカーや政府にも先駆的な生産革新活動として注目されてきました。(株)ダイセルは、1990年代に世代交代・製造業離れといった雇用構造の変革と円高などグローバルな競争力強化という課題に直面していました。合併企業の承継、BtoBのビジネスモデルを踏まえ、ノウハウの顕在化、活用、ITの駆使により、2000年に生産を知的統合し、生産業務革新、プロセス革新に展開しました。近年、プロセス型生産から組立加工型生産の改革に着手し、AIの実践活用を行い、現在も商材の革新にまで取り組みを拡大してきています。その20年に渡り、どう改革に挑戦し、どのような成果物を得て、次なる課題は何かを提言します。

なお講演終了後には、小河様を囲んでの交流会も予定していますので合わせてご参加下さい。

日時 2019年6月21日(金)16:30~18:00(講演・ディスカッション)18:00~19:30(交流会)
場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N棟大会議室(予定)
アクセス 東京メトロ副都心線 西早稲田駅直結、または、JR/東京メトロ東西線/西武新宿線 高田馬場駅下車徒歩15分
<https://www.waseda.jp/top/access/nishi-waseda-campus>

プログラム

16:30~16:35 開会挨拶
 16:35~17:40 講演「次世代型工場の構築~AI・IoTの活用事例~」
 17:40~18:00 ディスカッション
 18:00~19:30 交流会
講師 (株)ダイセル 取締役・専務執行役員 小河義美氏

定員 80名

参加費 サロンメンバー 2,000円, SCE・Net会員 2,000円, 正会員 3,000円, 法人会員 4,000円, その他 6,000円, 学生 1,000円
 受付後、参加証・会場案内図をお送りします。請求書希望の方には請求書も併せてお送りします。

申込方法 FAX, E-mailにてお申し込みください。
 ・FAX, E-mailによる申込み: 下記関東支部事務局宛、「第60回関東技術サロン」と明記し、会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

問合せ・申込み先 (公社)化学工学会関東支部事務局
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
 E-mail: info@scej-kt.org

バイオプロセス講演・見学会 「急速に進歩する体外診断薬、その最前線」

主催 公益社団法人 化学工学会関東支部, 公益社団法人 化学工学会バイオ部会
 協賛 公益社団法人 日本生物工学会, 日本動物細胞工学会, 新潟地方化学工学懇話会

高齢化社会の進展とともに、治療だけでなく予防・診断がますます重要になっています。また医学・生物学の進歩に伴い、新しい診断ターゲットが次々と現れており、科学的な知見を新しい診断法として定着させるための研究開発も活発となるとともに、迅速な製造プロセスの構築も重要な課題となっております。本講演・見学会では、体外診断薬の発展の歴史から最新の開発動向を概観するとともに、鍵となる技術である新しいタンパク質の発現系、循環腫瘍細胞(Circulating Tumor Cells: CTC)の検出などの液体生検技術、DNAマイクロアレイなどのジェノミクス、プロテオミクスの技術を応用した次世代型体外診断薬のレギュラトリーサイエンスを取り上げ、各分野の専門家にご講演いただくとともに、産学官の枠を超えた自由な意見交換の場を提供いたします。

また、わが国の主要な体外診断薬メーカーの一つであるデンカ生研(株)様のご厚意により、免疫血清検査試薬・臨床化学検査試薬・細菌検査試薬・ウイルス検査試薬の生産プラントとして鏡田工場の見学会を実施します。

日時 2019年6月27日(木)(講演会), 6月28日(金)(見学会)
会場 新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」講義室A(講演会)
 〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラカ1・2階
 TEL: 025-248-8141

<https://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/>
 デンカ生研(株)鏡田工場(見学会)
 新潟県五泉市大字木越字鏡田1359-1
 TEL: 0250-43-4111(代)
http://denka-seiken.jp/jp/access/map_niigata_kf.html

プログラム

第1日目: 講演会(13:00~17:00)
 (新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」講義室A)
 1. 講演会
 1-1「体外診断薬と抗体工学: 現状と今後」(13:00~13:50)

東京大学大学院 津本浩平氏
1-2 「植物発現系による組換えタンパク質の生産」(13:50～14:40)

デンカ(株) 小笠原大輔氏
休憩 14:40～15:00

1-3 「循環腫瘍細胞(Circulating Tumor Cells: CTC)の捕捉分離システム開発」(15:00～15:50)

東京大学大学院 高井まどか氏
1-4 「次世代型の体外診断薬のレギュレーターサイエンズ」(15:50～16:40)

国立医薬品食品衛生研究所 鈴木孝昌氏
全体質疑応答 16:40～17:00

2. 懇談会(17:30頃から。講演会終了後、アートホテル新潟駅前レストラン「彩巴(いろは)」

<http://www.art-niigata-station.com/restaurant/>
第2日目:見学会(9:30～12:00)

(集合, JR 磐越西線五泉駅改札前 9:00 集合 →バスにて事業所へ)

1. 概要説明(9:30～9:45)
 2. 班に分かれて工場見学(9:45～11:15)
 3. 総合質問(11:15～11:30)
- (バスにて五泉駅へ移動, 解散)

募集人数 60名

参加費 化学工学会・協賛団体 正会員 25,000円, バイオ部会正会員 25,000円, バイオ部会賛助会員 20,000円
化学工学会・協賛団体 法人会員の社員の方 30,000円, 化学工学会・協賛団体 学生会員 8,000円
会員外 37,000円, 会員外学生 10,000円
※参加費にはテキスト代・懇談会費・消費税が含まれます。

支払方法 受付後お送りする振込用紙にて事前にお振込みください。当日になってからのキャンセルの場合には、参加費をご請求させていただきます。

申込方法

・WEB申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催のご案内の「バイオプロセス講演・見学会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛, 「バイオプロセス講演・見学会参加申込」と明記し, 参加者氏名, 勤務先名, 所属部署名, 郵便番号, 住所, 電話, FAX番号, E-mailアドレス, 会員資格, 請求書の要・不要をご記入の上お送り下さい。

申込先 公益社団法人 化学工学会関東支部

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org

催します。また、講義終了後に個別の質問コーナーを設けますので、日常の分析で疑問に思っていること、こんな分析をしたい、今使用している機器の消耗品などに関する情報を得たい、何でも構いませんので、気軽に質問や相談してください。

主催 公益社団法人化学工学会東海支部

協賛 化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会, 静岡化学工学懇話会, 日本化学会東海支部, 高分子学会東海支部, 東海支部電気化学会東海支部, 日本分析化学会中部支部, 日本溶剤リサイクル工業会, 日本機械学会東海支部, 表面技術協会中部支部

協力 (株)鳥津製作所, 日本電子(株), (株)リガク, (株)東陽テクニカ

日時 2019年6月14日(金)13:30～17:00

各コースの会場(10階)で受付します
場所 愛知県産業労働センター(ウインク愛知)
<http://www.winc-aichi.jp/>
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 (JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より徒歩約2分

講習会の内容

1. 熱分析コース[1005号室]

講師 (株)リガク
熱分析の基本を説明した後に、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、安定した測定に対するノウハウ、などについて講義します。

2. 走査電子顕微鏡(SEM)コース[1007号室]

講師 日本電子(株)
走査電子顕微鏡の基本を説明した後に、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、測定に対するノウハウなどについて講義します。また、エネルギー分散形X線分析装置など、関連する表面分析についても講義します。

3. 高速液体クロマトグラフ(HPLC)コース[1009号室]

講師 (株)鳥津製作所
HPLCの基本を説明した後に、日常分析に対する留意点、日常のメンテナンス方法、簡単なトラブルシューティングなど、HPLC使用のノウハウについて講義します。

4. 電気化学インピーダンス測定コース [1008号室]

講師 (株)東陽テクニカ
電池や腐食、塗膜などの評価に用いられる電気化学インピーダンス測定の原理を説明した後に、等価回路に置き換えて解析する方法などについて講義します。また、二次電池の測定に適應できる最新の測定・解析手法を紹介いたします。

募集定員 各コース40名

参加費

正(個人)・法人会員会社社員 ¥6,000(含テキスト代)
非会員/一般 ¥10,000(含テキスト代)
学生(会員/非会員) ¥3,000(含テキスト代)
※1:協賛学会の会員の方は、化学工学会会員の参加費に準じます。

申込締切 6月7日(金)

申込方法 下記ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込み下さい。
<http://scej-tokai.org/>

なお、参加者には参加証をお送りします。参加証は当日ご持参下さい。

問合せ先 公益社団法人化学工学会東海支部
〒466-8555 名古屋市中村区御器所町
名古屋工業大学生命・応用化学科化学工学研究室内

TEL: 080-4525-3070

ホームページ <http://scej-tokai.org/>

関西支部

先端技術を支える単位操作シリーズ 固液分離の理論と実践 —講演&工場見学会—

主催 化学工学会関西支部

協賛 近畿化学協会, 高分子学会関西支部, 日本化学会近畿支部, 日本機械学会関西支部, 分離技術会, 有機合成化学協会関西支部

日時 2019年7月4日(木)13:00～17:00

会場 サントリー〈天然水のビール工場〉京都ブルワリー [長岡京市調子3-1-1 TEL: 075-952-2020]
〈交通〉阪急京都線「西山天王山駅」から徒歩約10分

※工場への無料シャトルバスは、一般工場見学参加者専用のバスとなっておりますので、本セミナーご参加の方はタクシー・徒歩でお越しくださいようお願い致します。

プログラム(質疑応答時間含む)

1. [基調講演]固液分離の基礎理論と最近の話題—ろ過・圧搾操作を中心に—(13:00～13:40)
(阪府大院工)岩田政司氏
 2. 固液分離装置の紹介(13:40～14:00)
(栗田機械製作所)越智俊夫氏
 3. 固液分離(ろ過)の連続化(14:00～14:25)
(三菱化工機)細野武彦氏
 4. 固液分離のスケールアップ(14:35～15:00)
(元住友化学・スケールアップコンサルタント)高橋邦壽氏
 5. ビール工場におけるろ過技術(15:00～15:20)
(サントリービール)林 輝彦氏
 6. 工場内見学(製造工程見学, 濾過機と技術説明)(15:30～16:30)
- 情報交換懇談会(ミキサー)(16:30～17:00)

参加申込締切 6月25日(火) ただし、定員(32名)になり次第締切

参加費 主催・協賛団体正会員 19,000円, 主催・協賛団体法人会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 大学・公設機関 7,000円, 会員外学生 5,000円, 会員外 37,000円(何れもテキスト代, 消費税込)

参加申込方法 Webの参加申込フォームをご利用ください。またはE-mail等にて標記事項を題記し, (1)受講者氏名, (2)勤務先・所属, (3)連絡先(住所, 郵便・電話番号, E-mail), (4)会員資格, (5)送金方法(予定日), (6)請求書の要否を明記のうえ, 下記宛てにお申し込みください。参加費は銀行振込(りそな銀行御堂筋支店普通預金No.0405228 公益社団法人化学工学会関西支部 名義)をご利用ください。参加申込者には6月下旬にE-mailにて参加証を送付いたします。

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお取扱いいたします。

申込先 (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 6-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org

東海支部

第12回機器分析講習会

卒業研究を始める4年生や修士学生、実際に分析機器を使用している企業の担当者を対象に、経験豊富なメーカーの分析技術者による講義を通して、分析機器の操作方法や計測手法、日常メンテナンスやノウハウを学び、研究活動のレベルアップを図ることを目的に実施します。講習会は、熱分析コース、走査電子顕微鏡コース、高速液体クロマトグラフコースおよび電気化学インピーダンス測定コースの4コースを開